「高齢者全都共同要請行動」

②医療については、医療費無料化が、都内では中学生以下所得制限が撤廃されて実施されているところもある。日の出町でも実施が報道されている。当福生市は、二歳児まで所得制限が撤廃されたのは大変喜ばしいが、もう一段の努力が望まれるとの要請が改めて出されました。公立福生病院は急性期の医療だけでなく、リハビリ病床の機能にも力を入れて欲しい。医師確保の努力などの要望意見が。

③介護保険は、意見が続出しこの問題の大きさを改めて認識する要請行動でしたが、特に今年九月三十日をもって、軽度の認定を受けた人から福祉用具を取り上げる問題は重大です。ベット利用だからなんとか起きあがれた人が、自立と認定されベットがはずされ、這いつくばる生活を余儀なくされる。こんな馬鹿なことを厚労省が強制している訳ですが、なんとか救済策を緊急にたてるよう要請。介護保険料問題で、受益者負担制度の問題、特に月五万円の年金者から、五万五千二百の介護保険料を徴収する一方、二千万円以上の所得があっても、年八万二千七百円、何億あっても同じというのはあまりにも酷い制度と、改善の要望が出されました。

介護保険料
年金年間収入約六十万円
年間保険料　五万二千円
所得二千万円以上
年間保険料　八万二千七百円

⑤障害者自立支援事業者からも悲鳴が上がっている。これでは事業が続けられない。例えば、精神障害者のこどもが土・日は自宅に帰る場合、ベッドなど施設や、人員をその分減らせない。しかし、日割り計算とされたため、事業収入が減少するなど発生。

⑨アスベスト対策では、西多摩にはアスベスト患者を診る専門医が居ない。公立福生病院に専門医を配置して欲しい。これから患者が多く発生が見込まれる中、専門医でないと誤診が多く発生するなど、助けられる命が助けられないこともでる。

行政書士奥富喜一事務所のコマーシャル

得意業務は以下の分野です。
建設業許可・経審・入札、宅建業許可、産廃収集運搬許可、会社設立、会計業務関係、遺言・相続、多重債務相談等

履歴等自己紹介
出版社、会計事務所、大手商社経理処理、建設業経理、民商事務局を経験、前福生市議

福生市政アンケートの返送状況のおしらせ

八月二八日現在二百十一通が寄せられています。集計が追いついていませんが、途中経過報告致します。

【設問】あなたの暮らしはどうなりましたか

良くなった	0
少し良くなった	0
変わらない	16
少し苦しくなった	26
苦しくなった	38
その他	2
無回答	3
集計総計数	85

前号掲載以降の【暮らしの問題では】の設問に対するご意見の一部を、裏面に紹介させて頂きました。

まだ、アンケートを書いてない方是非お寄せ下さい。

恒例の，06年度キャラバン自治体交渉に参加しました。

「高齢者全都共同要請行動」が、毎年この時期に取り組まれています。私は平成七年から、毎年参加で十二年目を迎えます。今回は、①高齢者への大増税の中止と税増収分の運用について、②医療、③介護保険、④ホームヘルパーの労働条件改善について、⑤障害者自立支援に関して、⑥年金、⑦国保、⑧保育、⑨アスベスト対策・青年の雇用対策について、の九項目に絞り八月二十九日に要請行動を行いました。事前に出された要請文をもとに、福生市の文書回答があり、これを中心に予定時間を大幅に上回り、二時間を超える熱心な意見交換を、行政側と交わしました。

①大増税問題では、払わないのではなく、払えない方が増加する問題への、何らかの対処が求められること、今年老年者控除の廃止で、三千六百万円、年金控除の廃止で、四百十二万円、定率減税で一億三千六百二十万円、市税の増収が見込まれる訳で、この一部を高齢者世帯にも還元すべき、訪問介護の利用者補助の再開、インフルエンザ予防補助で、お年寄りの健康管理を促進などに、振り向けるようあらたに要請されました。

2006.8.29キャラバン自治体交渉風景（福生市役所にて）

奥富きいちは上記の見解を発表しました。

きいちニュース

奥富喜一の活動報告
‘06.9 No.004
TEL 042-553-3927
福生市福生947

クレジット・サラ金・ヤミ金被害など多重債務の悩みを共に、　解消!
「連絡協議会の相談会」　毎週木
多摩西部民商　連絡・問い合せ　奥富まで

日本共産党西多摩青梅議員団
無料法律相談会（弁護士）
毎月 第２・４（火）
お問い合わせは奥富まで